

HOME > 服育レポート > 服育活動レポート > No.017「服育からの環境教育アプローチ」日本環境教育学会関西支部

## 服育レポート

衣服の持つ学習の可能性を子供たちに伝えるために

服育活動レポート

**EARTHINK**  
服と環境を考える

No.017 服育セミナー  
服育からの環境教育アプローチ

開催日 2008年10月18日(土) 14:30~17:00

主催 日本環境教育学会関西支部のメンバー

目的・経緯  
関西地域を中心に環境教育の研究・普及・実践等を行っている学術団体・日本環境教育学会関西支部では、定期的なワークショップ等を通じて環境教育推進のための情報交換や勉強会を行ってまいります。これまでも様々な分野から講師を招き、研修やフィールドワークなどのワークショップを企画されてきましたが、今回は身近な衣服に係わる環境教育ということで私たちの「服育」活動に注目していただきワークショップで発表させていただくことになりました。

INDEX  
● 服育活動レポート  
● 先生のご感想 / 参加者のご感想  
● 団体紹介

服育セミナー 授業サポート  
● イベント参加

### 服育活動レポート

#### セミナータイトル「服育からの環境教育アプローチ」

#### 地球環境問題への対応から「服育」へ

まずは私たちの環境分野の活動について環境推進室・前田から、なぜ企業として環境問題への取組みを始めたのかその経緯と繊維リサイクルの現状について説明しました。



セミナー風景

繊維には昔ながらの古着輸出、ウェス利用、反老などのリユース&リサイクルの他、現在はケミカルやサーマルなど様々なリサイクル方法があります。

しかし、一般衣料までを含めると一律にリユース・リサイクルするのは難しく繊維製品に関するリサイクル法などは未制定となつてます。

そんな中で私たちがどのような取組みをしているのか、ユニフォームのリサイクル現状やLCA(ライフサイクルアセスメント)調査の報告として私たちのLCA試算(リサイクルユニフォームは従来品ユニフォームに比してCO2の排出量が86%)について説明しました。

現在、企業としては環境大臣認定の広域認定制度を活用し、ユニフォームの分野からCO2排出削減への努力を進めています。

#### 服育とは

そんな環境への取組みを進める私たちの中から、どのようにして「服育」という考え方が出てきたのでしょうか？



セミナー風景

そこには企業が行う環境コミュニケーションが含む矛盾に対するジレンマがありました。豊かで快適・便利な生活を望む生活者と、豊かで快適・便利な生活を支えるための企業活動を行う企業側という図式からは「持続不可能」な社会しか実現されません。

持続可能な社会を実現するための主軸は行政や企業でなく国民ひとりひとりであり、その国民に対する環境啓発活動も私たち企業に課せられた使命ではないかと思に至ったのです。

その表現方法のひとつが「服育」であり、環境はもとより服の持つ社会的側面、文化・歴史的側面、機能的側面、生産と消費の側面にまでその範囲を広げ概念を創り上げていきました。

服を単なる装飾としてだけでなく、多様な角度から見ていくと衣服の様々な面が見えてきます。例えば、衣服の今昔や消費・生産量の変化、また民族服の資料等、古今東西様々なものが服育のアイデアソースになってきます。

服育は私たちにとって社会的責任を果たしていくためのひとつの方法であり、服育を通して思いを行動に移していきたいと考えています。

#### 服育の環境教育実践



セミナー風景

服育が形作られるまでの話に続いては、具体的にどのような活動を行っているのか「実践紹介」という形で有吉より説明させていただきました。

私たちの活動の対象としては主に「子どもたち」と「先生方」がありますが、そのどちらにも環境面で伝えていきたいと考えているのは「衣服の循環」です。

衣服が作られ、着られ、そしてリユース・リサイクル、もしくは廃棄される過程を知ることで、自分たちの行動がどのような意味を持ち、どのような影響を与えるのか理解して欲しいと思っています。

まだまだ実践の跡が少ないのですが、ゲームや実験など体験的な活動を通して「衣服の循環」を体感できる場を提供していきたいと試行錯誤している内容についてご紹介させていただきました。

「服育」からの環境教育へのアプローチはまだ始まったばかりですが、今回のような様々な立場の方からのご意見を参考に、より「生きる力」につながる活動へと充実を図ってまいります。

**FUKUKU REPORT**  
服育レポート

服育活動レポート

▶「服育活動レポート一覧」

▶ かわいい男になろう

▶ 服育からの環境教育アプローチ

▶ 服装の機能と役割を考える

▶ 衣服を通して考える環境

▶ 服育で見つめ直す衣服の力

▶ 「学校・生徒・家庭」で取り組む服育

▶ 服のTPOを考えよう!

▶ 衣服とコミュニケーション

▶ 衣服の持つ力を見つめ直す

▶ 衣服から考えるもったいない

服育発表会レポート

▶ 2006 服育発表会

▶ 2005 服育発表会

▶ 2004 服育発表会

**服育目録** 2009 NEW

定期セミナー

2009年トップバッター

第8回 3月14日

日本文化から学ぶ  
人との付き合い方、  
ものとの付き合い方

服育活動レポート

No.018 服育授業

かわいい男になろう

School  
東山中学校・高等学校  
(京都府)

※毎月更新!

服飾評論家  
市田ひろみさんと  
服育

もったいない  
MOTTAINAI

もったいないと服育  
無ならんなんMOTTAINAI!

ライブ情報

服育コラム  
TPOとコーディネート⑤  
式典

島田氏のPRESS THINKING

学校行事の式典の代表格は、毎年3月の卒業式と4月の入学式で、よいかいいずれも学校にとって重要なせしめモノであり、フォーマルな装いが必要なTPOであるといえるでしょう...

続きを見る

コラム一覧

全国の素敵な学校 & 先生紹介

SORA Web

先生のための情報web

## 服育セミナーを終えて

### 先生のご感想



谷口文雄 先生  
(日本環境教育  
学会企画委員  
長・関西支部長、  
甲南大学文学部  
教授)

環境教育は、ま  
ず教育であって心  
豊かな子供の育  
成をめざします。  
次に環境にかか  
わり、ひとつには  
健全な自然の生  
態系を体験学習  
し、はじめて環境  
活動に参加するこ  
とへとつながりま  
す。このような教

育をうけて育った若者は、感性が目  
覚め、破壊や汚染された環境があると、  
胸が痛み自ら責任をもった環境  
活動を行なうでしょう。

環境教育で大切なものは「衣」「食」  
「住」をテーマとして、ライフスタイルを  
変えることです。今までの環境教育  
学会では、「衣」(着物)についての  
環境教育が手薄でしたが、今回のワ  
ークショップでは、服飾企業が主催す  
る「服育」をめぐる環境教育の実演を  
ご紹介いただきました。こうした企業  
の取り組みが広がり消費者へと伝わ  
ることが、環境問題の解決への第一  
歩であり、それが「服育」として成果  
を上げつつあるという状況を興味深く  
拝聴しました。チクマの環境教育活  
動や学習室などが充実していること  
に、参加者からの感動の声がよせら  
れました。大きくいえば、産学共同の  
一端となるワークショップでした。

### 参加者のご感想

現在「食育」が取上げられている  
中、新たな「服育」とはどのような  
ものかと考えていましたが、今回  
お話を聞いて環境を考える上でこ  
れからは必要不可欠なものである  
と感じました。企業である以上、利  
益を追求することが大切である  
と思いますがそれよりも環境への配  
慮を優先させるという方針に非常  
に驚きました。逆風も強いと思  
いますがこれからの時代には必ず  
必要になってくると思います。(学  
生・女性)

「特性化後の温暖化影響比較(全  
体)」のスライドが示していま  
すが、全体の3/4を占める材料段階  
を除くと縫製段階において温室  
効果ガスの排出を半分している  
という点には驚きました。インドの綿  
花産業など人間や環境に対する  
負荷を考えると材料段階での温室  
効果ガスの削減は難しいと思いま  
すが製品に対する消費者の購買  
スタイルの転換を推進することは  
重要だと思います。これから服育  
も重要な視点だと思います。(学  
会メンバー・男性)

「服育」を「衣食住」の一環としてと  
らえさせていただきました。食育・  
住育は環境教育や経済への論理  
から何か方向性(エコ化)が見え  
てきましたが、服育のエコ化とは  
何でしょうか？その答えを求めて  
今日は参加いたしました。何故な  
らば衣服をつける動物まのみで  
す。食・住(果)はすべての動物の  
生活に結び付きますが「衣」という  
非動物的なもの、非自然的(反自  
然的)なものを使用するところに問  
題の原点があるのでと考えていま  
す。(学会メンバー・男性)

## 団体紹介 日本環境教育学会関西支部

日本環境教育学会関西支部 [HP](#)

日本環境教育学会関西支部は学術団体である日本環境教育学会の支部で  
あり、関西地域を中心として、環境教育の研究・普及・実践をおこなうことを目  
的として設立された団体です。会員は、教育関係者をはじめとして、行政、企  
業、一般市民等様々な方々によって構成されています。定期的なワークショッ  
プや年次大会の他、様々な講習会やエコ・ツアーの企画などを行っておられま  
す。

[印刷用ページを開く](#)

[back](#) 【服育セミナー覧】 [next](#)

**CONTACT US**  
お問い合わせ・お申し込みは・・・

服育セミナーをご希望の方はお  
問い合わせフォームに必要事項  
を記入の上お申し込みください。  
また、服育セミナーに関するお問  
い合わせ、ご質問もこちらからお  
願いいたします。

お問い合わせ  
フォームへ  
▶▶▶

- ▶ 服育セミナーレポート
- ▶ 服育発表会レポート

- 関連情報
- 服育ブログー服育セミナー関連
- 服育ブログー服育発表会関連

ページトップ

